

団体名: 飛島村商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考										
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価					今後の展開・改善点等									
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標		実施方法									
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤が脆弱な小規模等細企業を中心に、職員が直接事業所を訪問し、県・国の施策普及を図るとともに、金融・税務・労務等経営全般の相談について、経営基盤の強化を図り、健全企業を育成することを目的とする。また、創業・経営革新への積極的支援を行い、地域経済の安定的発展を目指す。	巡回相談 延件数 194件 実企業数 83社 窓口相談 延件数 342件 実企業数 120社 課題解決提案件数 10件 経営力向上計画認定数 4件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 107.2%)	500	実績数値	536	指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0%)	10	実績数値	10	小規模事業者の良き相談相手として、企業の体質改善支援及び各種施策普及を図ることができ、経営力向上計画の認定などにつながった。 また、専門家派遣事業活用により専門的な指導が行え、職員の資質向上も図れた。	総合評価	B	事業実施評価	B	自己評価	B	調査結果	必要性	満足度	補足	目標	経営改善普及事業の柱となる事業であり、伴走型支援により、件数よりも指導内容に重点を置き、支援を行う。	○
記帳継続指導	個人事業主を対象に、正しい記帳方法と税務知識の周知徹底を図り、決算・確定申告の指導を行うとともに、計数に基づく自主記帳の促進を図り、経営力の向上に結びつける。	指導対象事業者数 27件 指導延日数 125日 指導延回数 294件	小規模事業者	指標	記帳機械化事業所数 (達成度 100.0%)	27	実績数値	27	指標	記帳指導延回数 (達成度 84.0%)	350	実績数値	294	記帳継続指導により青色申告制度の特典や税制改正に伴う記帳指導で期限内申告の適正化を図り効果を得た。	総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	B	調査結果	必要性	満足度	補足	目標	記帳事務に留まるとなく、会計ソフトを利用した経営分析を行い、経営力向上につなげる。	○
講習会事業	高度化・多様化する事業者ニーズに対応するため、小規模事業者にとって必要な知識習得や時勢の問題についての啓蒙を図ることにより、資質向上と目清な事業運営に資することを目的とする。	飲食業者・理容業者を対象とした業種別講習会:3回、参加者数延45名 消費税軽減税率対策セミナーの共同開催:3回、参加者数延15名 その他商工業者に関する経営等の集団講習会:7回、参加者数延104名(うち5回 海部南部地区商工会での共同開催 2回 海部支部での共同開催 1回 経営革新) 税務相談を中心とした個別講習会8回、参加者数延46名	小規模事業者	指標	講習会参加延人数 (達成度 123.5%)	170	実績数値	210	指標	講習会参加延人数 (達成度 %)		実績数値		専門家による個別相談(税務・金融)により事業者の抱える問題を解決することができた。業種別講習会では、技術指導だけでなく、付加価値向上による集客力向上への意識が芽生えた。また、各種講習会により事業者の意識改革、経営のセトになり、事業者の資質向上、円滑な事業運営にもつながった。	総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	A	調査結果	必要性	満足度	補足	目標	税務相談を中心とした個別相談会を実施し、小規模事業者の問題解決を図る。経営発達支援計画に基づいたセミナーを開催、その際には、支援者を特定し、重点的な支援を図る。	○
若手後継者等育成事業	インターネットの普及により、インターネットでの情報発信やSNSの取組みが活発になっている。しかしながら、小規模事業者などは上手く使いこなせていないのが現状である。そこで、売上げアップに繋がる小規模事業者ならではの活用方法をテーマに販促セミナーを開催する。	販路開拓支援セミナーの開催開催日:10月12日 受講者数:9名 満足度:88.9%	小規模事業者	指標	セミナー参加者数 (達成度 90.0%)	10	実績数値	9	指標	セミナー受講者の満足度 (達成度 127%)	70%	実績数値	88.9%	SNSを活用した販路開拓を学び、時代に即した販路開拓方法が行えるようになった。	総合評価	B	事業実施評価	B	自己評価	B	調査結果	必要性	満足度	補足	目標	若手を中心とした事業を展開すること、後継者・地域のリーダーとしての資質向上を図るため引き続き事業を実施する。	○
祭典事業	村などが主催するお祭りに共催、その集客力を活かし、地域産業(地域資源)のPR機会として、地域の活性化を図るとともに、商工業者の発展に寄与する。	どびしま夏まつり(平成29年8月5日開催)にてお楽しみ抽選会(特等〜4等:88本 特別賞10本)を企画・運営。車カブ・ともろこしなどのバザーを実施し、会場を盛り上げた。	村内在住・在勤者(地元商業者・村内在住者・小規模事業者へ商工会の存在のPRになる)	指標	来場者数 (達成度 100.0%)	1,500	実績数値	1,500	指標	来場者数 (達成度 %)		実績数値		地域住民に商工会の存在をアピールする場となり、今後の地域振興を行う基礎づくりができた。	総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	A	調査結果	必要性	満足度	補足	目標	行政との連携をこれまで以上に密にし、創意工夫により更なる活性化を目指す。	○
商店街・街づくり事業	消費生活の多様化、近隣市町村への購買力流出など商業者が抱える問題の解決のため共通商品券の発行、発展会への支援などを通じて、地元商業者の活性化を図り、地域振興、街づくりに寄与することを目的とする。	共通商品券の発行(9月 総額1,100万円 プレミアム10% 参加店60店) 村が実施したすこやか生活奨励事業の寄託を受け、すこやか商品券の発行(9月発行 総額1,062万円 参加店60店) 行政からごみ袋販売の事務委託を受け、取扱店22店 1,871箱を販売 街路灯の灯具交換(11店14基) 新規設置(2基)街路灯の維持管理及び電灯料の補助(104基) 行政ポイント発行事業(19店)の開始による請求事務などを実施。(毎月)	村内在住・在勤者、主に小規模事業者の活性化に役立つ)	指標	参加企業数 (達成度 120.0%)	95	実績数値	114	指標	参加企業数 (達成度 %)		実績数値		プレミアム付共通商品券及びすこやか商品券の発行により、消費者需要喚起、商店の売上アップ、商販の活性化につながった。街路灯の灯具交換(LED化)維持管理により、魅力ある商業環境づくり、防犯にも役立つことができた。	総合評価	B	事業実施評価	B	自己評価	B	調査結果	必要性	満足度	補足	目標	来年度も村補助金により、商品券(総額1,100万円、プレミアム率10%)を発行する。街路灯については、LED化が進んで、老朽化が終了しており、維持管理に努める。	○
産業活性化事業	行政・村民が一体となり、地域資源の有効活用を考え、特産品の開発普及・PRなどを行い、産業活性化を図る。また、地域活性化に向けた事業に取り組み、地域商工業の発展に寄与する。	特産品(飛島村せんべい)の販売・PRを行い、海部地区inセントレア(8/30)にて販売。 会員交流会(2/8)の開催 飛島村産直部会に参加・協力し、総会・会議に出席、産直市(ふれあいの郷、敬老センター)への出品を行った。 豊根村との交流事業として夏まつり会場にて特産品を販売、とびしまマルシェに出品協力(17店)	農・商・工業者・村内在住者(小規模事業者の意見交換につながる)	指標	各種事業への参加者数 (達成度 97.8%)	45	実績数値	44	指標	各種事業への参加者数 (達成度 %)		実績数値		地元特産品、商店のPRを行うことで、商工会のPRにもなり地域産業の活性化につながった。また、交流会は異業交流の場となり、企業の経営基盤の強化に繋がった。	総合評価	B	事業実施評価	B	自己評価	B	調査結果	必要性	満足度	補足	目標	飛島村観光交流協会の設立により、連携を図りながら事業を実施する。	○
調査・広報事業	小規模事業者に対する施策に反映するため、地域経済・消費者動向などの調査事業を実施。また、関係施策等の利用を促進するため、施策普及資料・HPを活用し、制度の周知を行い、経営力の向上につなげ、商工業の活性化に寄与する。	広報カレンダー260部、県産業労働ガイブックス25部、小規模企業のみなさまに260部、商工業のご案内5部、施策普及ポスター3種 6枚、金融の手引き100部、商工会融資のご案内300部、有期契約社員が無期転換ルールのポイント50部、持続化補助金チラシ300枚、地域経済動向調査報告書300部の作成	商工業者等(小規模事業者の情報取得等に役立つ)	指標	施策普及資料の種類 (達成度 142.9%)	7	実績数値	10	指標	施策普及資料の種類 (達成度 %)		実績数値		施策普及資料などを活用した広報活動により、経営力向上計画の認定や設備貸与制度の利用に結びついた。また、商工会活動や商工業施策などの情報発信により、経営情報の取得・経営力向上に役立つ。	総合評価	A	事業実施評価	A	自己評価	A	調査結果	必要性	満足度	補足	目標	施策活用を促すため、資料の作成に加え、ホームページ・広報誌などを活用し、周知を積極的に行う。HPを刷新、情報の充実を図る。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名: 飛島村商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考				
				目標①		目標②		得られた効果		ABCD評価					今後の展開・改善点等			
				指標	実績数値	指標	実績数値	総合評価	実施評価	調査結果への	満足度	補足	目標		実施方法			
雇用促進事業	地域における総合的な改善発達を図ることを目的として、珠算検定と人材育成を目指し、全国連と県連合会主催の珠算検定大会を実施する。また、海部商工会選抜珠算検定大会の参加により、珠算能力の向上に役立っている。	珠算教室の検定試験を商工会が取りまとめ、4回(6/18・9/17・11/19・2/18)実施、延64名が受験した。 また、海部商工会選抜珠算検定大会(12/2)開催、飛島村からは11名が参加した。 共同(12事業所)の求人チラシ(49,200枚)を作成し、新聞折込を行った。	小規模事業者児童・生徒(珠算能力向上を目指すことにより小規模事業者の有効)	指標 検定受験者数 (達成度 116.4%)	指標 (達成度 %)	目標値 55	実績数値 64	目標値	実績数値	得られた効果 将来的地域を担う青少年の人間形成と商工会のPRが図られ、地域と一体化した円滑な事業活動の促進につながった。また、求人チラシの作成・配布により、人材確保とともに小規模事業者の知名度アップにつながった。	総合評価 B	実施評価 B	調査結果への 自己評価 B 目標達成度 A	満足度 B 必要性 B	補足	目標 上げる	実施方法 変更する	各種検定事業に引き続き取り組み、海部商工会選抜珠算検定大会に参加する。また、他団体と連携しながら小規模事業者の人材確保をサポートする。
青年部・女性部事業	地域の担い手である青年部・女性部員間の交流や社会福祉活動を通じ、地域貢献を図り地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	青年部 総会をはじめ、部員間交流事業、チャリティーゴルフ、夏まつり・体育祭バザー、社会福祉活動としてもちつき体験・試食など14回、延179名、参加実人数27名 県青年連主催研修、主張発表会知床大会、海部支部講演会など13回、延34名が参加 女性部 総会をはじめ、夏まつり・体育祭バザー、会員研修会、講習会、文化祭出品など12回、延119名、参加実人数19名 県女性連主催研修、海部支部研修・講演会など16回、延29名、その他全国大会、中部ブロック研修会、県女連理事会にも参加した。	青年部・女性部員	指標 事業参加実人数 (達成度 115.0%)	指標 (達成度 %)	目標値 40	実績数値 46	目標値	実績数値	部員間の交流や社会福祉活動を通じて地域とのかかわりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することができた。 また、各種事業の企画・運営を通じて経営者としての資質向上が図れ、活動を通じて青年部・女性部のPRにもなり、地域との一体化が生まれ、商工会事業運営が円滑化された。	総合評価 B	実施評価 B	調査結果への 自己評価 B 目標達成度 A	満足度 B 必要性 B	補足	目標 現状維持	実施方法 実行どおり	事業承継・後継者育成の主体に若手経営者の育成、女性経営者としての知識向上につながる事業を行う。また、地域の活性化に貢献できる事業を実施する。
部会・委員会事業	会員を商業・工業等業種別に分け、各業種の発展のための情報交換や各種事業を行うことにより会員間の親睦を図り、参加企業の発展に繋ぎ、地域振興やまちづくりにも寄与する。	商業部:総会、役員会、会員研修会、開通セミナー、体育祭バザーなど10回、延130名、26事業者が参加 工業部:総会、役員会、異業種懇談会、会員研修会、体育祭バザーなど10回、延94名、21事業者が参加 食品衛生部:総会、役員会、食品衛生セミナー、自主検査、ふきとり検査、検便(春・秋)、体育祭バザーなど15回、延174名、32事業者が参加	商工会員	指標 事業の開催回数 (達成度 106.7%)	指標 事業参加実企業数 (達成度 87.8%)	目標値 30	実績数値 32	目標値 90	実績数値 79	研修会、講習会を通じて、経営改善のヒントなどが見出され、企業の活性化につながった。検便・自主検査・衛生セミナーの実施では、食品衛生管理の充実を図ることができた。各部会ともに体育祭バザーなどを通じ、地域社会に貢献することができた。	総合評価 B	実施評価 B	調査結果への 自己評価 B 目標達成度 B	満足度 B 必要性 B	補足	目標 両方現状維持	実施方法 両方現行どおり	経営方向上につながるアイデアやヒントを得る機会となるよう、実務に活かせる研修・講習会事業を充実させる。
福利厚生事業	中小企業、とりわけ小規模事業者の雇用の安定を図るため、各種共済制度の普及や従業員の福利厚生を支援することにより、健全な企業の育成に資することを目的とする。	小規模企業共済(55件)倒産防止共済(7件)中退共(2件)特定退職共済(31名)中小企業共済(131名)その他共済制度(72名)の普及推進に努めた。 コロナ優待券(17枚)販売、長島リポート入場補助(848名)、雇用安定のための集団健康診断(22名)を実施し、小規模事業者(実55事業所)の福利厚生を支援した。	小規模事業者	指標 福利厚生利用実企業数 (達成度 110.0%)	指標 (達成度 %)	目標値 50	実績数値 55	目標値	実績数値	共済事業については、小規模事業者の方が一に備えた保障として役割を果たせた。また、従業員の福利厚生の充実・健康維持により、事業所の健全な経営と、雇用の安定・発展に資することができた。	総合評価 B	実施評価 B	調査結果への 自己評価 B 目標達成度 A	満足度 B 必要性 B	補足	目標 現状維持	実施方法 現行どおり	自己財源の確保、企業経営の安定のために引き続き実施する。多くの事業所が利用できるよう工夫を図る。
労働保険事業	事業主の委託を受けて、労働保険の煩わしい手続きを代行する事務組合を設置運営することにより、事業主の事務負担の軽減を図るとともに、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な申告納付を図ることを目的とする。	事務委託を受け、44事業所の雇用保険資格取得・喪失、労災保険の給付手続き等事務処理71件を行った。労働保険の適用促進と事業主の事務負担軽減を図り、適正な労働保険料の徴収指導を行った。	労働保険適用事業者(小規模事業者の企業力アップに役立つ)	指標 委託事業場数 (達成度 100.0%)	指標 (達成度 %)	目標値 44	実績数値 44	目標値	実績数値	労働行政との協力を図りながら、労働保険事務を代行することで事務の適正化と制度普及に寄与しつつ労働環境の整備ができた。さらに事務処理負担の軽減により、本来業務に専念することができ、企業力アップにつながった。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果への 自己評価 A 目標達成度 A	満足度 B 必要性 A	補足	目標 現状維持	実施方法 現行どおり	引き続き事務組合を設置運営し、事業主の事務負担軽減を図る。未手続事業場を中心に労働保険制度を周知し、委託勧奨に努める。
青色申告会・法人会事業	青色申告会、法人会等税務支援団体の活動をサポートし、地域社会への貢献や発展の役割を担い、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	青色申告会:総会、役員会、記帳指導会、視察研修会、体育祭バザーなど14回、延124名、実企業数26社が参加 法人会:総会、役員会、異業種交流会、視察研修会、つり大会、体育祭バザー、ねんく村出店など11回、延85名、実企業数20社が参加	青色申告会員・法人会員(小規模事業者の発展・活性化につながる)	指標 事業への参加実企業数 (達成度 76.7%)	指標 事業の開催回数 (達成度 125.0%)	目標値 60	実績数値 46	目標値 20	実績数値 25	地域の商工業者が加入する法人会・青申告会の事業支援と連携協力を通じて、正しい経営知識の取得と納税意識の向上により、健全な企業育成につながった。	総合評価 A	実施評価 A	調査結果への 自己評価 B 目標達成度 A	満足度 A 必要性 A	補足	目標 ①下げる②現状維持	実施方法 両方現行どおり	引き続き事業活動をサポートし、商工業活性化を図る。企業ニーズに沿った事業を推進し、より多くの企業が参加できるように努める。
産業団体事業	各種団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、地域社会への貢献や発展の役割を担い、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	建設業組合(一人親方労災保険事務手続等)51名、飛島村災害協力会(村主催の防災訓練での非常用物資・飲料水の搬送、カープミーの点検・清掃、家具等転倒防止器具取付)事業への参加・協力)24名、酒組合等(事務代行など)9名の事業運営に協力、参加した。	たばこ組合・酒組合・飛島建設業組合・飛島村災害協力会(小規模事業者の発展・活性化につながる)	指標 各種団体の構成員数 (達成度 120.0%)	指標 (達成度 %)	目標値 70	実績数値 84	目標値	実績数値	地域の商工業の活性化を担う団体の活動のサポート、支援することにより、地域経済の活性化を促すことができた。	総合評価 B	実施評価 B	調査結果への 自己評価 B 目標達成度 A	満足度 B 必要性 B	補足	目標 現状維持	実施方法 現行どおり	引き続き、地域の団体の事業活動をサポートすることにより、商工業の活性化につながる。連携を強化してニーズに合った活動を展開する。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。